

第 38 回研究会&第 12 回社会コミュニケーション部会エクスカーションのお知らせ

テーマ：「壱岐で考える情報とコミュニケーション——交流と対話の島をめぐる」

このたび、第 38 回研究会&第 12 回社会コミュニケーション部会では新たな試みとしてエクスカーションを行います。「交流の島」として知られる壱岐を舞台に、歴史と現代をつなぐ貴重な体験の場をご用意いたしました。壱岐は、古代より朝鮮半島と日本を結ぶ中継地点として重要な役割を果たし、多様な文化や情報が交錯する場であり続けてきました。島内を巡る中で、皆さまには「情報」や「コミュニケーション」の意味や変遷について、実際の風景や史跡を前に考え、語り合う時間にできればと思います。

昨年 8 月には、かつて朝鮮国王が江戸幕府へ派遣した外交使節を運んだ「朝鮮通信使船」の復元船が壱岐勝本港に入港し、歴史的交流の現場がいまもなお生きていることを感じさせてくれます。

今回、島内のご案内には、文部科学省で高等学校学習指導要領（商業科）を策定し、商業教育改革の中心を担われた元文科省初等中等教育局視学官の吉野弘一先生にご協力いただくこととなりました。「教育」について話し始めたら止まらない名物先生が、島の魅力や歴史、そして教育の可能性についても熱く語ってくださることでしょう。エクスカーション中は、話題に事欠かない豊かなひとときをお約束します。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

フィールド：長崎県壱岐市

スケジュール：

22 日（金）

- 高速船にて移動（博多港 15:45 発 ⇒ 郷ノ浦港 16:45 着をお勧めします）
- フィールドを散策

23 日（土）

- 勝本浦を散策
- 吉野先生のお話
- 「辰ノ島」周辺群島巡り。
- 島中央部の古墳群を見学
- 高速船にて移動（郷ノ浦港 15:30 発 ⇒ 博多港 16:40 着をお勧めします）

その他ご案内：

- 原則として壱岐島現地集合・現地解散です。
- 宿泊先・移動手段等は各自でご用意ください。

担当幹事：小田良次（実教出版）・後藤晶（明治大学）

参加を希望される方は後藤までご連絡ください

参加申込期限：7 月 31 日（調整の都合上、早い締め切りになっております）

akiragoto[at]meiji.ac.jp